



# 榎

# 原 チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校  
学校だより No.12  
令和2年 6月4日  
文責:校長 酒井 健

◇ここがすごい! 榎原小学校の子どもたち・・・立派ですね!

## お掃除、一生懸命!



今週から縦割り清掃が始まりました。1年生から6年生まで静かに真剣に取り組んでいます。6年生の下級生の面倒見が素晴らしいです。

## あいさつ運動の輪が・・・



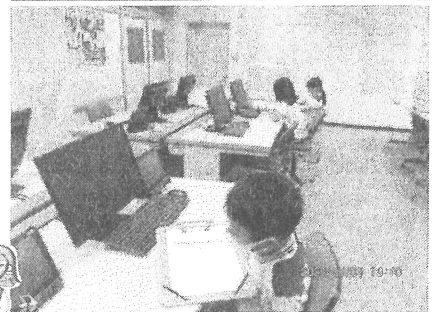
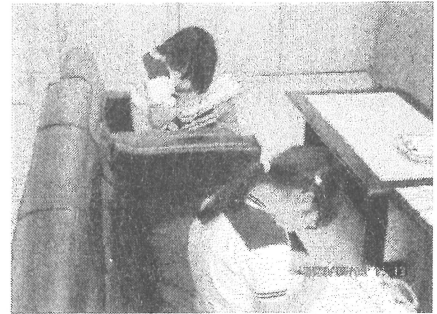
朝、校門に登校を終えた子どもたちが集まってきます。登校してくる友達にあいさつを交わっています。徐々に人数が増えています。

## ◇1年生だけで学校探検を行いました。

6月3日(水)、1年生が「学校探検」を行いました。4月には2年生のお兄さんとお姉さんと一緒に校舎内をまわりましたが、今回は、1年生だけの探検です。

グループごとに校舎内をまわって、「気付いたこと」を一生懸命、絵や言葉でメモすることができました。

校長室も訪問してくれた1年生。校長室にある物を珍しそうに眺めている姿が、とてもかわいらしかったです。ちびっ子記者たちからの様々な質問に答えた後、私から「他に質問はありますか」と尋ねると、「校長先生は何歳ですか」という質問。「いくつに見える?」と聞き返すと「27歳?」・・・一応「36歳」と答えておきました。



## これからの学校生活についての疑問③



### ◆音楽の授業は大丈夫?

・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」は、感染リスクが高いとされています。レベル1〔下郷町はこのレベル1です〕の地域では、可能な限り感染予防を行った上で実施することができます。榎原小学校では、音楽室において、マスク着用で歌唱、リコーダー等は友達との距離をしっかりと取り、さらに、同じ方向を向いて演奏しています。このような状況下ではありますが、音楽の楽しさや美しさを感じ取ってほしいと願っています。

〔「学校の新しい生活様式」

文部科学省

〈5月22日付け〉〕

## 校長のひとりごと

先日、私が読んだ教育雑誌の中から、「なるほど」と感じた読み物をご紹介します。慶應義塾大学大学院教授の前野隆司先生が書かれていました。「幸せ」とは何か。調査・分析から人が幸せになるために必要な「4つの因子」を導き出しました。①「やってみよう!」因子(自己実現と成長の因子)②「ありがとう!」因子(つながりと感謝の因子)③「なんとかなる!」因子(前向きと楽観の因子)④「ありのままに!」因子(孤立と自分らしさの因子)なのだそうです。学校生活において、子どもたちが「幸せ」と感じる学校・・・「幸せ」な学校を目指していきたいです。